

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財) 全国地域情報化推進協会 御中

報告日 2021年6月9日
派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書(2日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	掛川市役所	代表者名	市長 久保田 崇
担当者部署	企画政策部	連絡先電話番号	0537-21-1208
担当者役職	係長	担当者氏名	戸塚 芳之
住所	436-8650 静岡県掛川市長谷1丁目1番地の1		

1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

団体名	連絡先部署	連絡先電話番号	連絡先E-mail
担当者氏名			

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	吉本 明平
評価	大変よい
上記評価の理由(どのよう なところがよ かったか等詳 細に)	どの職員にも内容が理解できるように、とても分かりやすい説明をしていただいた。デジタル社会に向けた意識改革がいかに重要であるか伝わる内容であった。
アドバイザーへの要望事項	

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2021年6月8日	10時00分	12時00分	10	110
	派遣形態	講演(オンライン)			

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="radio"/> 掲載可
------	--------------------------------------

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数
	標準化システムを今後使用する部署の職員(録画)	100人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点 (具体的にご記入下さい)	自治体DX推進計画により情報システムの標準化・共通化や行政手続きのオンライン化を進めていくうえで、窓口担当部署の職員がデジタル化に向けて危機感を持ち意識改革する必要がある。	
支援により目指す成果 (具体的にご記入下さい)	担当部署の職員のデジタル化に対する意識改革。各担当者が情報システムの標準化・共通化や行政手続きのオンライン化に向け、やらなければいけないことを意識する。	
アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	2040構想おける自治体の今後の在り方に向け、情報システムの標準化・共通化やAI・RPAの活用が必須であること。デジタル社会において、自治体が担うべき役割はデジタルプラットフォームとして、まわりとつながったりつなげていくこと。情報システムの標準化に向けて今やらなければいけないことの整理。	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	人口減少社会の中で、自治体のサービスを維持していくためには、AI・RPAにより業務の効率化を図らなければならない。デジタル化を進めるためには、自治体だけの力では足りず、民間と協力していく必要がある。情報システムの標準化については、情報が明らかでないとも多いが、外字の関係など、今すぐに取り掛かれることもある。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	④人材育成のカリキュラムやツールを策定できた 職員の研修のための動画撮影
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	特になし	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 今後、研修を実施する予定。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	④予算以外で、今後取組む事項がある
事業の最終的な目指す姿	「情報システムの標準化・共通化」及び「行政手続きのオンライン化」の実施。 デジタル社会に向けた意識を持った職員による全庁的なDX推進。	

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

